

# 教育研究研修センターだより



通巻 No.282

令和5年3月15日（水）発行

## 学校の諦めない心

岡山市中学校長会長

岡山市立竜操中学校長 長瀬 尚樹

本校では、月に一度、生徒会役員が校門に立ち、朝のあいさつ運動を行っています。意義ある活動ですが、赴任してきて違和感を覚えたのは、一緒に立っている教職員を含め、登校してくる生徒にしか声を掛けないということでした。同じ時間帯には、たくさんの通勤車両、散歩やゲートボールを日課とされているのであろう地域の方々が校門前を通過されるのですが、まさに素通り状態。大人も子どもも地域社会と繋がるチャンスをみすみす逃しているだけでなく、これでは、先生の目がないと生徒はあいさつをしないなと感じたものでした。

今では、先生方も出会う人ごとに気持ちのよい声掛けができていて、「先手あいさつ」のできる生徒も随分と増えました。また、猛スピードの車両が減り、生徒の自転車を優先して下さったり、車の中から軽く会釈を返して下さったりする運転手の方も多く、月に一度の活動ですが、朝の校門前が随分と受容的な雰囲気になってきたと実感しています。毎朝立っている私や生徒指導主事には顔なじみの方や園児もできて、「お疲れ様です」「いってきまあす！」の声で、エネルギーがさらに充填されます。

そして、校門前での変化を感じ始めたここ1年くらい、地域から学校にかかってくる交通マナー等に対するクレームだらけの電話にも少しずつ変化の兆しが見られるようになりました。「困っている小学生を助けてくれた」「障害のある方に優しい関わりをしてくれた」など、少しずつですが中学生の思いやりや勇気ある行動に感激したという連絡が混じってくるようになったのです。

もちろん、あいさつの在り方だけで変化が生じたわけではありません。元来、前向きに取り組む教職員集団と良くも悪くも素直な生徒たち。教育活動の本質やめざす方向性さえ外さなければ、「開かれた学校づくり」「社会性の醸成」といった難易度の高いゴールにも、実践を積み上げながら果敢に向かっていくことができる絆と力を持ち合わせた集団です。そんなチームが、「慣例で続ける」のではなく、また「それは保護者の責務だ」と投げ出すのでもなく、そのものの値打ちやあるべき姿を再確認し、自らのかわり方や姿勢を不断に見直しながら、教育活動の工夫・改善をしてきた結果として、「変わる！ 竜操中」が現実のものとなっていったのだと思っています。

文部科学省が、年度内に不登校に対処する新たなガイドラインを取りまとめるとのこと。教育機会確保法の施行以降、学校以外の場での教育機会の確保が声高に叫ばれ、一方で、基礎的な学力や社会性の醸成を担保されなかった人のための公立の特例校や夜間中学の設立も急務と言われます。教育大綱にも掲げられた不登校の解決は確かに待ったなしの状況であり、学校だけでは抱えきれない高いハードルであることは十分に理解しつつも、何ともちぐはぐ感が漂う流れだと感じてしまうのは私だけでしょうか。

学校外の機関との連携は緊密に行いながらも、学校が工夫できることはないか、教室復帰を探れないかと粘り強くもがいてみる——子どもの心の奥底に眠っている可能性に寄り添い、課題解決のための一歩前進にチームで挑戦し続ける「学校の諦めない心」が、今こそ試されているのだと思うのです。

# 令和4年度「人権教育担当者研修講座」

第2期 岡山市教育大綱では、育む5つの力の一つとして「人権尊重の精神」が挙げられています。また、第3期岡山市教育振興基本計画では、「人権尊重の理念に基づく教育の推進」が全ての取組の土台であると示されています。

教育研究研修センターでは、各学校の人権教育の推進を図るため、本年度は人権教育担当者研修講座を3日間に拡大しました。

## 【第1日】 年度始めに人権教育担当者としての役割を明確にし、見通しをもって人権教育の推進に取り組む

これから見通しをもって人権教育を進めていくために、人権教育を行う目的や育みたい力を確認し、人権教育推進のための取組、中学校区・校内の研修の充実を図るためのポイントなどについて学びました。

## 【第2日】 自校の課題を踏まえて研修講座を選択し、自校での取組に生かす（夏季休業中）

今年度より、自校の人権教育における課題を踏まえて、8つの研修講座から1講座を選択して受講しました。その中の2つの研修講座を紹介します。

### 人権問題研修講座【歴史上の人権問題】



岡山市人権啓発センターで、岡山の地で起こった汚染一揆について学びました。

研修では汚染一揆資料館の見学もしました。

展示物や職員の説明から、どのような歴史背景のもと一揆が起こったのか、どのような特徴があったのか等、「人権獲得の戦い」と言われる所以について学びました。

### 人権問題研修講座【性的マイノリティ】

鳴門教育大学の葛西真記子教授から、セクシャルマイノリティへの理解や当事者の思い、課題等について学び、事例を基に子ども達への対応を考え、話し合いを行いました。

当事者にとって、現在学校や社会は安全・安心な場ではないという言葉から、学校や社会の中でどんなことができるのかを考えることができました。



鳴門教育大学 葛西真記子 教授

## 【第3日】 ・中学校区で人権教育の共通理解を図り、子どもを育成していく ・新しい人権課題について考える

人権教育推進指定事業における研究指定校の実践を聞いた後、各中学校区で協議を行いました。それぞれの学校の実践紹介や推進上の課題について話し、共有することが出来ました。

また、大阪聖徳学園の西林幸三郎教授の講義・演習「感染症と人権」では、コロナ禍の中で起こったトラブルや、子どもや保護者の思いに寄り添う大切さについて学びました。これからマスク着用が求められなくなるのが予想される中で、どんな問題が起こり得るのか、またそれに対してどのような対応をしていくべきかを考えることが出来ました。



大阪聖徳学園 西林幸三郎 教授

○人権教育の推進に向けて、学びとなったことは「何のために」という目的をしっかりとつとめることだ。全職員で目的をしっかりと共有して取り組んでいくことが大切だということに気付いた。

○西林先生のお話を聞いて、どれが正しいのか正しくないのかではなく、人に寄り添うことが大切というように、変わらないことを大切にしていきたいと思う。

【受講者の感想より】

3日間の研修を通して、人権課題とその解決について学び、学校が子ども達にとって安全・安心の場となるためには、どのようなことに留意しながら人権教育を推進していく必要があるのかを学ぶことができました。



# 令和4年度 教育課題別研究を紹介します！



令和5年3月末  
Google Classroom  
掲載予定！！

映像資料  
先輩から学ぶVol. 3  
～ICTを効果的に活用した授業づくり～

「令和4年度教育課題別研究」では、ICTを効果的に活用した授業づくりを研究協力校である岡山中央小学校、岡山中央中学校と実践し、学校の教育目標（めざす子ども像）の実現を目指して研究を進めています。ここでは、それぞれの研究協力校の実践を紹介します。

小学校第1学年 国語

言葉のイメージ  
を確かにする  
ための  
動画視聴

Jamboard  
による  
「のりもの  
ずかん」  
の作成

小学校第4学年  
外国語活動

Jamboardで作成した  
学習教材

より実際に近い  
場面の設定

やり取りする  
時間を多く確保

岡山中央小学校

単元前  
の  
子どもの姿

視覚化 共有 保存

ICTの  
効果的  
な活用

効率化 試行錯誤

単元で  
目指す  
子どもの姿

岡山中央中学校

Google  
スライドで  
意見の共有

試行錯誤  
のための  
GeoGebra  
の使用

写真提示で  
学習課題  
つかむ

スプレッド  
シートで  
データを整理

グラフの操作で  
批判的思考力の育成

意見共有のための  
Jamboardの使用

中学校第2学年 理科

中学校第3学年 数学

来年度は、「子どもが分かりやすい、楽しいと実感できる」授業づくりの実現に向けて、さらに効果的なICT活用について考え、実践していきます。

## 第26回 岡山市どろんこ教育賞・どろんこ教育賞特別賞

岡山市では、子どもの教育における全分野で日々地道に努力し、心豊かな子どもの育成に情熱を傾け、実践している教育関係者並びに明るい学校生活を創り出す上で懸命に努力している岡山市立学校に在籍する児童及び生徒、また、創作紙芝居の制作に取り組み、豊かな情操を培った岡山市の幼稚園・保育園・認定こども園を表彰しています。

### どろんこ教育賞受賞者

#### 〈個人の部〉

|            |              |        |
|------------|--------------|--------|
| 岡山市立芳泉中学校  | 養護教諭         | 池田 好美  |
| 岡山市立高島小学校  | 栄養教諭         | 岩上 典子  |
| 岡山市立福渡小学校  | 学校司書（会計年度任用） | 多々野 優子 |
| 岡山市立御津南小学校 | 用務員（会計年度任用）  | 塩見 誠   |
| 岡山市立平島小学校  | 用務員（会計年度任用）  | 大場 啓正  |
| 岡山市立妹尾中学校  | 不登校児童生徒支援員   | 萩原 多加子 |

#### 〈団体の部〉

|           |       |
|-----------|-------|
| 岡山市立建部中学校 | カヌー部  |
| 岡山市立福浜中学校 | 第二学年団 |

### どろんこ教育賞特別賞

今年度は、岡山市内の幼稚園、保育園の創作紙芝居2作品が受賞しました。どちらの作品も、子どもたちと先生方の豊かな発想力や想像力に溢れ、協力することの大切さや、相手を思いやる温かさが描かれており、豊かな情操が培われていることが強く感じられました。

○いきいき賞（主に、道德性の芽生えが期待できるという面で優れている作品）

岡山市立芥子山幼稚園 「鬼退治に、いざ出陣！」

○ほのぼの賞（主に、子どもらしい物語性に優れている作品）

高島第一保育園 「たまねぎ じっけん」



☆「創作紙芝居の写真とあらすじ」（平成30年度から令和4年度）を、岡山っ子育成局保育・幼児教育部幼保運営課のホームページに掲載しています。どうぞご覧ください。